

令和5年度障がい福祉分野のロボット等導入支援事業報告

- 1 導入機器種類 排泄・見守り
- 2 機器名称 ころばんぞう
- 3 機器性能 トイレで発生する転倒等の事故を予防するために、ナースコールと連動した見守りセンサー
- 4 導入効果 トイレの手摺りとナースコールが連動しているため、利用者の動きに応じて支援できるため、心理的な負担を含め、業務の負担軽減につながっている。利用者の転倒防止等のリスク軽減に繋がっている。



(別紙)

障害福祉分野のロボット等導入支援事業(令和4年度第二次補正予算分) (施設等に対する導入支援分) 事業報告書

自治体名 福井県

【基本情報】

フリガナ	シャカイフクシホウジン フクイフクシキョウダン
法人名	社会福祉法人 ふくい福祉事業団
フリガナ	ジャクエツトリノムラ
事業所名	若越みどりの村
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
障害者支援施設	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休・休職は除く)】	
60.7 人	

(1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種類: 移乗介護 排泄支援 入浴支援
 移動支援 見守り・コミュニケーション

(2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	1 移動・移乗・体位変換		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	2 排泄介助・支援		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	3 生活自立支援(※1)		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	4 行動上の問題への対応(※2)		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	5 その他の直接介護		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
間接業務	6 巡回・移動		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	8 見守り機器の使用・確認	17 人	760 件	9,120 件	3 分	7,752 人時間	27 時間
	9 その他の間接業務		0 件	0 件		0 人時間	#DIV/0!
		760 件	9,120 件	3 分	7,752 人時間	#DIV/0!	

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援

※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等

※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

ロボット機器を設置するトイレを使用する利用者の1日の排泄介助数×365日÷12月にて算出

<※2>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

ロボット機器を設置するトイレを使用する利用者の排泄介助時の見守り支援を要する5人の時間を計測し、5人の平均対応時間を算出

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	1 移動・移乗・体位変換		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	2 排泄介助・支援		760 件		0 人時間	#DIV/0!	
	3 生活自立支援(※1)		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	4 行動上の問題への対応(※2)		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	5 その他の直接介護		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
間接業務	6 巡回・移動		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	8 見守り機器の使用・確認	17 人	760 件	9,120 件	3 分	7,752 人時間	27 時間
	9 その他の間接業務		0 件	0 件		0 人時間	#DIV/0!
		760 件	9,880 件	3 分	7,752 人時間	#DIV/0!	

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

ロボット機器を設置したトイレを使用する利用者5人の1日の排泄介助数(5回)×365日÷12月にて算出

<※4>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

ロボット機器を設置したトイレを使用する利用者の排泄介助時の見守り支援を要する5人の時間を計測し、5人の平均対応時間を算出

年間業務時間数想定削減率(%)

0.0%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

--

(4)ロボット機器等の導入により得られた気づきや今後の課題等について必ず記載すること。

排泄している時間は側についての見守りや短時間ごとの確認が必要であったが、ロボット機器を導入することにより、排泄をしていた利用者が立ち上がろうとするとナースコールが鳴るため素早く利用者を確認できるようになった。そのため側についての見守りや短時間ごとの確認が不要になり、利用者の確認が素早く出来るため転倒事故等のリスクが減少し、職員の心理的不安が軽減した。しかし、介護ロボット(見守りセンサー)を利用者ごとに位置調整が必要になり、位置調整が容易でないため手間と時間を要することとなった。使い慣れるようにしていく。

(5)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円)	
職員の質上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

--

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

--